



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 コムシスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1721 URL <https://www.comsys-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加賀谷 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 尾崎 秀彦 TEL 03-3448-7000
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	374,769	23.2	21,158	7.1	22,219	8.7	14,459	△20.9
2019年3月期第3四半期	304,303	24.9	19,764	17.4	20,436	19.4	18,272	55.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 15,046百万円 (△7.3%) 2019年3月期第3四半期 16,229百万円 (24.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	112.60	112.30
2019年3月期第3四半期	153.11	152.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	440,333	303,943	68.3
2019年3月期	439,926	301,459	67.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 300,864百万円 2019年3月期 298,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2020年3月期	—	35.00	—		
2020年3月期(予想)				40.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	540,000	12.1	38,000	7.7	38,500	6.7	25,500	△9.0	198.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	141,000,000株	2019年3月期	141,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	13,585,447株	2019年3月期	12,299,356株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	128,419,419株	2019年3月期3Q	119,340,113株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境、企業収益の改善が続くなかで各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復が期待されるものの、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引き上げ後の国内経済の動向に留意する必要があります。

コムシスグループを取り巻く情報通信分野におきましては、新規事業者の参入や電気通信事業法の改正等により通信事業者間の競争が激化する中、コンテンツ等の付加価値サービスが拡大しており、急増する大容量のトラフィックに対応するためモバイルネットワークの高度化が進められています。また、公共・民間分野におきましては、激甚化する自然災害に備えた防災・減災対策等の国土強靱化施策、再生可能エネルギー政策、東京オリンピック・パラリンピック開催等による社会インフラ投資や、I o T、A I（人工知能）、5 G（第5世代移動通信）など新たなイノベーションを活用したI C T投資の拡大が期待されております。

コムシスグループといたしましては、太陽光発電設備工事やバイオマス発電設備工事をはじめとした再生可能エネルギー事業や、スマート社会に向けた公共投資・I C T投資の増加に対応した新たな事業領域へのチャレンジ等トップラインの拡大に取り組んでまいりました。また、統合シナジーの早期創出を目指すとともに、成長事業分野への要員流動や、働き方改革の推進により施工効率の向上及び経費削減等の利益改善にも努めてまいりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高4,529億7千万円（前年同期比25.1%増）、売上高3,747億6千万円（前年同期比23.2%増）となりました。また、損益につきましては、営業利益211億5千万円（前年同期比7.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益144億5千万円（前年同期比20.9%減）となりました。なお、四半期純利益の減少は、前期に特別利益として計上した経営統合に伴う負のれん発生益の影響などによるものであります。

【グループ別の受注高・売上高・セグメント利益〔営業利益〕】

（単位：百万円）

報告セグメント	受注高		売上高		セグメント利益 〔営業利益〕	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本コムシスグループ	237,993	23.5%	185,182	2.5%	10,355	△15.0%
サンワコムシス エンジニアリンググループ	41,292	△2.5%	39,013	6.8%	3,609	33.0%
T O S Y Sグループ	22,034	31.9%	17,136	15.4%	178	△69.0%
つうけんグループ	39,856	4.7%	33,595	△0.7%	2,333	12.5%
N D Sグループ	63,516	65.8%	60,094	199.2%	2,570	123.6%
S Y S K E Nグループ	26,755	38.6%	20,675	221.3%	406	418.8%
北陸電話工事グループ	10,950	116.8%	9,756	191.2%	235	12.6%
コムシス情報システムグループ	9,309	10.6%	8,051	11.0%	1,000	11.8%

(注) 1 「受注高」及び「売上高」は外部顧客への取引高を記載しております。なお、「セグメント利益」は当社及びセグメント間取引により生じた利益を含んでおります。

2 2018年10月1日付で、N D S株式会社、株式会社S Y S K E N、北陸電話工事株式会社の3社を株式交換により当社の完全子会社としております。この結果、セグメント情報において、前第3四半期連結会計期間より同3社及び同3社の子会社を「N D Sグループ」「S Y S K E Nグループ」「北陸電話工事グループ」とし、報告セグメントに加えております。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ4億円増加し4,403億3千万円、負債は、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ20億7千万円減少し1,363億9千万円となっております。

また、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加及び自己株式の取得などにより前連結会計年度末に比べ24億8千万円増加し、3,039億4千万円となりました。

この結果、自己資本比率は68.3%（前連結会計年度末は67.8%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年5月10日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	28,618	53,277
受取手形・完成工事未収入金等	169,186	116,627
未成工事支出金等	28,983	48,882
その他のたな卸資産	4,576	5,863
その他	15,783	18,150
貸倒引当金	△136	△81
流動資産合計	247,013	242,718
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	41,847	43,455
土地	65,748	67,762
その他（純額）	28,148	28,230
有形固定資産合計	135,744	139,448
無形固定資産		
のれん	4,999	4,176
その他	4,606	4,093
無形固定資産合計	9,606	8,270
投資その他の資産		
投資有価証券	27,712	29,861
その他	20,205	20,390
貸倒引当金	△356	△356
投資その他の資産合計	47,561	49,896
固定資産合計	192,912	197,615
資産合計	439,926	440,333

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	77,685	57,316
短期借入金	8,543	31,983
未払法人税等	6,017	658
未成工事受入金	4,045	7,694
引当金	1,251	979
その他	18,583	16,843
流動負債合計	116,125	115,476
固定負債		
長期借入金	3,212	1,301
再評価に係る繰延税金負債	1,369	1,369
退職給付に係る負債	13,508	13,633
役員退職慰労引当金	622	580
その他	3,628	4,028
固定負債合計	22,340	20,914
負債合計	138,466	136,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	91,549	92,149
利益剰余金	223,261	229,376
自己株式	△20,539	△25,226
株主資本合計	304,271	306,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,810	3,334
繰延ヘッジ損益	△0	3
土地再評価差額金	△7,905	△7,905
退職給付に係る調整累計額	△802	△867
その他の包括利益累計額合計	△5,898	△5,434
新株予約権	657	599
非支配株主持分	2,428	2,479
純資産合計	301,459	303,943
負債純資産合計	439,926	440,333

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
売上高	304,303	374,769
売上原価	263,926	327,520
売上総利益	40,377	47,249
販売費及び一般管理費	20,612	26,091
営業利益	19,764	21,158
営業外収益		
受取利息	14	20
受取配当金	428	707
固定資産賃貸料	166	256
その他	224	308
営業外収益合計	833	1,292
営業外費用		
支払利息	20	38
賃貸費用	81	134
その他	60	57
営業外費用合計	161	231
経常利益	20,436	22,219
特別利益		
投資有価証券売却益	44	39
固定資産売却益	22	25
受取補償金	-	84
負ののれん発生益	5,159	-
その他	20	20
特別利益合計	5,246	170
特別損失		
固定資産除却損	28	44
減損損失	329	-
特別退職金	60	80
その他	176	56
特別損失合計	595	180
税金等調整前四半期純利益	25,087	22,209
法人税等	6,786	7,634
四半期純利益	18,301	14,575
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	115
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,272	14,459

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
四半期純利益	18,301	14,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,930	531
繰延ヘッジ損益	△2	3
退職給付に係る調整額	△137	△64
その他の包括利益合計	△2,071	470
四半期包括利益	16,229	15,046
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,208	14,923
非支配株主に係る四半期包括利益	21	123

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金の残高は、前連結会計年度末より600百万円増加し、92,149百万円となっております。また、自己株式の残高は、前連結会計年度末より4,687百万円増加し、25,226百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

① 株式交換

当社は2019年4月1日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、北有建設株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換、当社を株式交換完全親会社、北興産業株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を各々実施し、自己株式383千株を交付いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が517百万円増加し、自己株式が639百万円減少しております。

② 自己株式の取得

当社は2019年5月10日開催の取締役会の決議に基づき、2019年5月13日から2019年11月27日までの期間に自己株式1,737千株を取得しております。また、2019年11月8日開催の取締役会の決議に基づき、2019年11月11日から2019年12月31日までの期間に自己株式307千株を取得しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,981百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。